

にしとみか むこうばたいせき  
西富岡・向畑遺跡

伊勢原市No.160 遺跡

**調査期間** 2007年4月1日～継続中  
**所在地** 伊勢原市西富岡  
**時代** 近世・中世・奈良・平安・古墳・  
縄文・旧石器  
**調査原因** 中日本高速道路株式会社による  
新東名高速道路建設事業に伴う  
埋蔵文化財発掘調査  
**遺跡位置** 小田急小田原線伊勢原駅の北方  
約2kmの富岡丘陵



**主な調査成果**

近世から旧石器時代の遺構や遺物が多数発見されています。旧石器時代では、L2層から礫群及び黒曜石を中心とする搔器・錐器の石器と剥片類が出土しています。縄文時代では、敷石住居など中期から後期を中心とした住居が見つっています。奈良・平安時代および古墳時代の竪穴住居跡や掘立柱建物がみつっています。中世では、竪穴状遺構や大型の井戸、溝などがみつかりました。竪穴状遺構からは、床直上から鉄製品がみつっています。また、長軸6m、短軸4.5mを測る楕円形を呈した大型の井戸がみつっています。井戸の中からは、大型の礫などとともに獣骨が出土しています。近世では、耕作に関連する畝状遺構や土坑がみつっています。



10区 中世地下式坑



10区 中世井戸遺物獣骨出土状況



15区 縄文時代敷石住居



15区 旧石器遺物出土状況